

令和5年度

岩泉町立岩泉小学校報



しずがわ

令和5年度 第12号
令和5年 9月19日
文責 校長 吉田 浩規

まなびフェスト(家庭の取組) 1学期評価

<結果の見方について>

家庭の取組の結果は、各項目で設定されている評価項目について、1学期末に実施した保護者アンケートから算出したものです。考察は、自由記述欄に寄せられた感想等をもとに校長(吉田)が分析した内容になります。

1 「みずから学ぶ子ども」

※単位は% 網掛けは目標数値を下回っている項目

NO	項目	保護者
1	お子さんの家庭学習が習慣化するよう、家庭での学習環境(場所・時間・声かけ・確認等)を整えている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	78
2	家庭で読書の時間を設けている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	29

【考察】

1について

「家庭での学習習慣がしっかりと身に付いている。」「声をかければ取り組む。」というプラスの感想がある一方で、「声をかけても反抗的な態度をとり、なかなか取り組んでももらえない。」「声をかけないとやらない。」「やらされているという気持ちがあるようで自分のための学習であることがうまく伝えられない。」「習い事などで帰宅が遅く時間が取れない。」という課題をあげる方もいらっしゃいました。

日常的に、さまざま忙しく学習の様子を確認したり、声をかけたりすることは難しい場合もあると思います。「今日は学校でどんなことを勉強したの。」など、学習内容について話題にしてみることで、学びの定着が図られる側面もあると思います。ご家庭の事情に合わせ、家庭での学習環境を引き続き整えていただければと思います。

2 について

評価項目の文言の受け止め方がそれぞれだったようで、厳しい評価となりました。取組に当たっての事前の周知が不足していたことを反省しております。家庭で読書をするという時間の使い方にも目をむけてほしいという願いから設定した項目です。学校では、読書意欲や読書習慣の育てるために、冊数やページ数を目標に取り組んでいます。冊数や時間は啓発のための一つの手段ととらえていただきたいと思います。大人も含め、テレビ、ゲーム、動画視聴などメディアにつながる時間が多い日常生活の中で、本を読むという時間の意識的につくることで、本を読む楽しさを感じていただければと思います。

2 「思いやりのある子ども」

※単位は%

NO	項目	保護者
3	家庭内でもお互いに明るいあいさつを交わすよう努めている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	94
4	お子さんの自己肯定感を育むことを意識した前向きな言葉かけを心がけている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	75

3 について

家庭でのあいさつの取組が大変良好であることが分かりました。家庭での日常的なあいさつ習慣が学校や地域でのよい挨拶につながっているのだと思います。引き続きよろしく願いいたします。

4 について

記述欄にたくさんのコメントをいただきました。「よくないと分かっているが感情的になって

しまう。」「言葉をかけることで、やる気がなくなると言われ対応に苦慮している。」「心に余裕をもって子どもと接するようにしたい。」という、おうちの方自身の悩みや反省の言葉が多く寄せられた他、「子どもがメディアの影響を受けて、言葉遣いが悪くなっている。」といった、お子さんの言語環境への懸念をお持ちの方もいるようです。言葉遣いや他者とのコミュニケーション力はこれからの社会を生きていく子どもたちにとって欠かせない力です。

本校では今年度、相手のやる気を引き出す言葉かけ（ペップトーク）をスローガンに掲げ、機会をとらえて児童・職員で学んだり、意識して使ったりすることで自己肯定感の育成を目指しています。

11月の家庭教育学級の際、保護者の方を対象としたペップトークの講演会を企画しております。ぜひお越しください。

3 「身体をきたえる子ども」

※単位は%

NO	項目	保護者
5	家庭で身体を動かす機会をつくり、励ましたり、見守ったりしている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	78
6	メディア利用について、家庭の約束を決め、守られるよう声をかけている。 （「岩小キッズのネット・ゲーム宣言」） ※保護者アンケート肯定評価80%以上	66

5 について

各種スポーツ少年団活動等へ積極的に参加し運動機会を確保している方がいる一方で、家ではずっとうちの中において運動機会をもてていないという方もいらっしゃいました。「身体を動かす機会」は、スポーツ活動のみならず、徒歩での通学や家庭内の身体を動かすお手伝いなども含めたものとして捉えています。お子さんの運動機会が少ないと思っているご家庭では、“少し手前で車を降りて歩く”“体全体を動かす家の掃除を一緒にやってみる”など、できるところから少しずつ取り組んでいただければと思います。

6 について

記述欄には、「親がいるときは守れるがいない時は…」という声が寄せられました。これからの時代メディアとのかかわりなくしては生きてはいけません。おうちの方が強制的にメディアを遠ざけても、反動で見えないところでメディアへの依存傾向を強めてしまう可能性もあります。メディアと適度に関わるといのは、大人でも難しいことですが、メディア以外のことをして過ごす楽しさを感じる経験を重ねることで、望ましいメディアリテラシーが身に付いていくのではと考えています。引き続き家庭での取組をよろしくお願ひします。

まなびフェスト以外の学校経営に関わる評価項目について

NO	項目	保護者
1	学校は、学習や生活の様子などを学校だよりや学級通信、連絡帳、懇談会などを通して伝えている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	98
2	学校は、登下校の交通安全などの安全指導を行っている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	94
3	学校は、学校いじめ防止基本方針に掲げられている取組を行っている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	91
4	学校は、外部の人材や環境を生かした教育活動に努めている。 ※保護者アンケート肯定評価80%以上	85

家庭での取組やアンケート調査へのご協力ありがとうございました。保護者の皆様の声を受けて、学校では夏休みに2学期からの取組の重点や方向性を話し合う場を設けました。また、8月29日には、学校評議員会が開催され、委員の皆様から本校の教育活動への評価、ご意見をいただいたところです。（集計が終わり次第、お知らせいたします）

ご意見をふまえながら2学期の教育活動をよりよりものにして参ります。引き続きよろしくお願ひします。